

選 定 理 由 書
(小學校用教科用図書)

第 1 0 採択地区教科用図書選定協議会

国語調査部会

国

語

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 国語

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新しい国語
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各領域のノート例や発表例等を多く示し、教科の目標達成に向けたつくりとなっている。 ・2年生以上で年に3回、「情報のとびら」では絵、図や表、グラフ、写真等で分かりやすく「情報の扱い方」を学習できるようにしている。 ・「書くこと」における言語活動の題材として、新聞や意見文等を取り上げ、動画やアニメーションで言語活動を見通したり、ノートや図や表を例示したりすることで、思考を広げて整理しやすくする配慮が見られる。 ・「読むこと」の説明文教材で、新聞記事やインターネット投稿を読み比べる教材が位置付けられ、生きて働く力を育む内容となっている。 <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年の教科書では、一文が文節ごとに空欄が入っていて、区切って読みやすい。 ・巻頭に「言葉の力」がロードマップ的に示してあり、螺旋的・反復的に学習することで「言葉の力」が積み上がって身に付けることができる。 <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題に対しての取組例が必ず記載してあるので、主体的に学習を進めやすい。 ・子供たちの読書体験が豊かになるように、多様なジャンルの本を紹介している。また、関連ある内容の本や本文の一部を掲載している。 ・エラーモデルの動画や文章を入れることで、どうして上手くいかなかったのか、自分たちで考えて課題を捉えやすくできるように工夫されている。 <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低学年の助詞の教材で、助詞を使った文の性質を色やイラストを使って視覚化し、分かりやすく表現している。 ・QR コンテンツが多く用いられていて、子供たちの関心や意欲を高めるとともに、教材に応じて学びがサポートされている。特に「タイピング練習」コンテンツや「話すこと・聞くこと」の動画が充実している。しかし、環境によっては、上手く読み込めない場合も懸念される。 <p>3 内容の構成・配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」の学習と「書くこと」の学習を「情報」のコラムでつなぎ、複合単元として単元配列してある。読み取った内容を、考えながら知識の定着を図ったり、その力を活用しながら自分の考えを書いて表現したりすることができるような流れになっている部分がある。 ・「ローマ字」や「要約」の学習が反復して学習できるよう、複数学年にわたって配列してある。 <p>4 表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインで見た目が分かりやすく、視覚的にも内容を捉えやすくする工夫がされている。 ・読みやすく、書きやすい字体を使っている。 <p>5 体裁・使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元の全体像を捉えやすくする単元扉、学習活動の流れを上下二段にした構成により、児童の主体的な活動を促す工夫が見られる。 ・1冊完結の高学年の教科書の厚さは1cmに抑えられている。使用している紙も児童の負担を配慮して軽量の物を使用している。低学年、中学年は上下巻の2冊。 			

書

写

選 定 理 由 書

第 1 0 採 択 地 区 教 科 用 図 書 選 定 協 議 会

小学校 教科 書写

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新しい書写
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書くことの基礎を学べるように、イラストとQRコンテンツが豊富に示されている。また、毛筆の学習においても最終的には硬筆にも生かせる学習の流れ、学習指導要領の目標を押さえた題字の取り扱い内容である。 ・「生活に広げよう」や「学びを生かそう」において国語や他教科の学習と連動させたリーフレットやポスター、新聞などの言語活動を取り上げ、また、日常生活に活用できるノートの書き方やはがきや手紙の書き方などを取り上げ、書写の能力を身に付けやすい内容となっている。 <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水書用紙の使い方の動画で、どのように使用し、学習を進めていくのかが分かりやすく示されている。 ・硬筆入門期のなぞりがきの線の種類が豊富であり、とめ・はね・はらい等だけでなく、筆圧的な線も意識できるように工夫されている。 ・1年生で鉛筆の持ち方が、子供の目線で示されていて、自分の持ち方(手)と見比べやすい。左利き用のものもあり、写真や動画で分かりやすく示している。 ・書き始めや書き終わりが何番目の部屋か示されていて、色別で示させている。文字の形を意識して練習しやすい。 <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目次とともに2年生以上にイラストで児童の日常から課題を提示し、書写の学習への関心・意欲を高めている。 ・練習する文字の形や文字列などのグッドモデルとバッドモデルが数多く表示されていて、自分で見てどこに気をつけるのか考え、気づけるようになっている。 ・2年生では難しそうな学習内容も、クイズ形式を取り入れて、楽しく学べるようになっている。 ・151種類のQRコンテンツの中には、シミュレーションやアニメーションなど児童に気づかせたり考えさせたりする動画がある。 <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き込みの欄が、上下左右に様々に表示されていて、利き手にかかわらずに、文字教材が見やすく練習できるように工夫されている。 ・豊富なQRコンテンツがあり、3年生での毛筆の手順や道具の準備など、何度も見られて動きがよく分かるようになっている。 <p>3 内容の構成・配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入の「書写の学び方」で、「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返ろう」「生活に広げよう」といった学習の流れを、確認することができるような構成になっている。 ・QRコンテンツが多いので、前もって指導者が確認しておく必要がある。 <p>4 表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科と関連する箇所をリンクマークで示していて、学習を広げるのに役立つ。 ・最初の見開きに書写の学びが示されていて、その学年の学習項目が星印で分かりやすく表示されている。それが、目次にも示されていて、書写の学習の積み上げが分かりやすくなっている。 ・同じ字形を、毛筆と硬筆で練習できるようになっていて、その違いや共通点を書き比べて学べるようになっている。 <p>5 体裁・使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開き1ページ分で、1時間の学習が完結できるようになっている。 ・水書シートは他社と比べると一回り小さい。しかし、自由にのびのびと表記できるようになっている。 ・他の出版社に比べて、数多く教科書に直接書き込むことができる。 			

社会調査部会

社 会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 社会

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新しい社会
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <p>(1) 「まとめる」場面では、小単元の学習問題を再掲し、学習問題に立ち返った考察を促すことで、単元を貫く意識が生まれるよう工夫されている。</p> <p>(2) 写真や資料を豊富に掲載し、効果的に関連付けることで、複数の意見や立場を踏まえて、多角的に考えられるよう配慮されている。</p> <p>(3) 「まなびのポイント」で、学習段階に応じた学習活動を例示することで、本時及び小単元を通して、主体的・対話的で深い学びにつながるよう配慮されている。</p> <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">見開きページのキーワードが「ことば」として提示されている。説明文を付け、学習のまとめでも活用できるようにすることで、学習の基礎・基本が定着するよう工夫されている。 <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">全単元を通して、「つかむ→調べる→まとめる→いかす」の一連の流れで構成されている。そのため、問題解決的な学習及び主体的・対話的な学習につながるようになっている。 <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">まとめの形式（新聞・プレゼン等）を多岐にわたって提示したり、ワークシートを充実させたりすることで、個に応じた指導（学習の個別化）ができるよう工夫されている。 <p>3 内容の構成・配列・分量</p> <p>(1) 全単元の最後に、「ひろげる」コーナーを位置付け、発展的・補足的な内容を取り上げることで、学習を広げ、深めていく工夫が見られる。</p> <p>(2) 「まなび方コーナー」を適所に設けることで、具体的な学習の仕方やスキルを、各学年の発達段階をふまえて学ぶことができるよう工夫されている。</p> <p>4 表記・表現</p> <p>(1) イラストや写真の大きさ・配置がパターン化していることで、見やすく統一感が感じられる。</p> <p>(2) カラーバリアフリーに配慮し、文字の色や図表、グラフ等も判別しやすく工夫されている。また、部分的にユニバーサルフォントにすることで、見やすくなるよう配慮されている。</p> <p>5 体裁・使用上の便宜</p> <p>(1) 5、6年生では学習する内容を2冊に分冊することで、重さに配慮されている。</p> <p>(2) QRコンテンツの表示が容易であり、全体メニューの表示や動画資料の掲載など、使用しやすく魅力的な体裁になっている。</p>			

地 図

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 社会（地図）

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新しい地図帳
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために扱う内容の選択について</p> <p>(1) キャラクターや吹き出しを活用し、子ども目線で学習の手がかりを示し、地図帳を使った学びをサポートできるよう配慮されている。</p> <p>(2) 世界スケールの歴史地図を掲載し、同時代の世界の様子を捉えることで、日本の歴史を多角的に考えられるよう配慮されている。</p> <p>(3) 都市図(タウンマップ)を多数収載し、校外学習や体験活動、家族での旅行でも活用できるよう工夫されている。</p> <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・QRコンテンツで、クイズや動画で地図のきまりや都道府県名、地名などの問題に繰り返し取り組むことで、基礎・基本の確実な習得ができるよう工夫されている。 <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・「ホップ1ステップ1マップでジャンプ1」で、様々な問いと作業に取り組んだり、「がんばりシート」で、到達度を確認したりすることで、主体的に取り組めるよう工夫されている。 <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・白地図をPDFデータで収載することで、まとめなどの学習に活用できるだけでなく、個に応じた学びに対応できるよう工夫されている。 <p>3 内容の構成・配列・分量</p> <p>(1) 道徳、家庭科、理科、外国語など他教科での活用も考慮した構成が工夫されている。</p> <p>(2) 日本の伝統文化や交通、都市などが分かる主題図、日本と世界との関わりを示した資料掲載に特色がある。</p> <p>4 表記・表現</p> <p>(1) 読みやすさと見やすさを追求したユニバーサルデザイン書体が使用されている。</p> <p>(2) 豊富な資料や、地域の特色に関連したキャラクターのイラストなど、児童が興味・関心を高めながら学習を進めるための工夫がされている。</p> <p>5 体裁・使用上の便宜</p> <p>(1) 本文ページは、発色が良く光の反射を適度に抑えた用紙が使用されている。また、児童がページを開きやすく書き込みをする場合にも対応できるようになっている。</p> <p>(2) 楽しく地図学習（クイズや動画など）に取り組めるQRコンテンツや調べ学習に役立つウェブサイトへのリンクなど、多彩な情報が収載されている。</p>			

算数調査部会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 算数

発行者 番号	大日本図書 4	教科書名	たのしい算数
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <p>(1) 毎時の適用問題が豊富に掲載されている。また、前の学年までの学習内容を参照できるデジタルコンテンツも用意されており、知識・技能が定着できるよう配慮されている。</p> <p>(2) 多様な方法を話し合ったり、図や式などの意味を読み取ったりする活動が設定されている。また、適用問題で、主問題で学習した考え方を説明する問題を設け、思考力・判断力・表現力を育てるよう配慮されている。</p> <p>(3) 単元の導入では、日常の場面や既習事項から、児童の対話を通して課題が設定されている他、「おうちで算数」や「算数たまたまばこ」で、学習を日常に生かすような配慮がされている。</p> <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫 すべての時間に学習のめあてが示され、本時の内容を意識して学習でき、また、適用問題が豊富に掲載され、基礎・基本の定着のための工夫が見られる。</p> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫 単元の導入のコーナーを設け、児童自身が問題や疑問を見だし、主体的に学習に取り組めるような題材の工夫が見られる。</p> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫 巻末補充問題「プラス・ワン」を全単元において設定されたり、適用問題が色でタイプ分けされたりするなど、習熟度別指導などで柔軟に取り扱うことができるような工夫が見られる。</p> <p>3 内容の構成・配列・分量</p> <p>(1) 学習内容の系統性、領域のバランス、他教科との連携、児童の発達段階、学習時期（季節感）等を総合的に考慮し、学習と指導がスムーズに行えるよう工夫されている。</p> <p>(2) 単元内の問題は、授業時間を考慮しながら、知識・技能を定着させるために豊富に用意されている。巻末補充問題等は、学校や学級の実態に応じて弾力的に扱える内容が充実している。</p> <p>(3) プログラミング教材について、全学年で扱っており、コンピュータを使わずにプログラミング的思考に触れる内容と、ビジュアルプログラミング教材を使った内容がある。</p> <p>4 表記・表現</p> <p>(1) 毎時の主問題の背景に色をつけて明確に示したり、児童がノートに記入しやすい記号を用いたりするなどの工夫がされている。</p> <p>(2) 教科書上の図の測定をしたりする個所では、作業しやすいように、図を外側に寄せるなどの工夫がされている。</p> <p>5 体裁・使用上の便宜</p> <p>2～6学年では年間1冊（B5判）にし、学習内容を見通したり、振り返って確認したりしやすくするなど、確実な定着が図れるよう配慮されている。（1学年初期はA4判書き込み付き用）</p>			

理科調査部会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 理科

発行者 番号	大日本図書 4	教科書名	新版 たのしい理科
1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について <p>(1) 単元末問題「確かめよう」「学んだことを生かそう」では、二次元コードですぐに答えを確認することができるよう工夫されており、既習事項を関連付けて知識及び技能の確実な定着とともに、活用する力を身に付けることができるようになっている。</p> <p>(2) 「理科の学び方」で、問題解決の過程を「見つけよう」「調べよう」「伝えよう」のまとまりとし全学年統一していることや、単元の中に「実験・観察のコツ」が分かりやすく示されており、児童が見通しをもって主体的に学習に取り組めるようになっている。</p> <p>(3) 単元導入の場面設定で、単元を見通した問題を見いだせるようなテーマやつぶやきが掲載されており、児童の興味・関心を高め、主体的に取り組めるように工夫されている。</p>			
2 内容の程度および取り扱いについて <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫 単元や学年を越えて系統的な視点を意識しながら整理した「学びをリンク！」に取り組むことで、習得した基礎・基本が定着するようになっている。</p> <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫 「問題を見つける」と「考察」の場面において、児童が理科の見方・考え方を働かせ、自らの考えをもてるように、キャラクターが「ココに注目」と強調して助言している。</p> <p>(3) 個に応じた指導のための工夫 観察、実験の方法や器具の使い方の動画、シミュレーション、単元末問題の解説動画など、様々なウェブコンテンツを用意し、児童一人一人が習熟度に応じて活用できるようにしている。</p>			
3 内容の構成・配列・分量 <p>(1) 児童の興味・関心、他教科や領域間の内容のつながりに関連をもたせた見通しのある構成となっている。導入では身近な題材と拡大写真を用い、理科の学習をより深められるようになっている。</p> <p>(2) 2学期制、3学期制のどちらにも対応できる単元配列になっている。発展的な内容が充実しており、SDGs やキャリア教育、防災など理科を学ぶことの有用性を実感できる構成になっている。</p>			
4 表記・表現 <p>問題解決の過程は「見つけよう、調べよう、伝えよう」の3色のラインでつなぎ、分かりやすく示している。また、計画や考察では、話合いの場面がイラストで示されていたり、観察、実験の結果が手書きの文字で書かれていたりして、言語能力の育成が図れるように配慮されている。</p>			
5 体裁・使用上の便宜 <p>A4判の大きさであり、ダイナミックな写真や構図で、児童の興味・関心を惹きつけやすい。ウェブコンテンツへの二次元コードの掲載位置が紙面下に固定されており、使用しやすくなっている。</p>			

生活調査部会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 生活

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	どきどきわくわく あたらしいせいかつ上 あしたへジャンプ 新しい生活 下
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <ul style="list-style-type: none">・小单元ごとに主に育成を目指す資質・能力が、本文とマークで分かりやすく示されていることで、指導と評価の一体化を目指せるように配慮されている。・单元内に「やくそく」コーナーや巻末に「かつどうべんりてちょう」があることで、活動に即した習慣や技能、学び方が身に付けられるように配慮されている。(知識及び技能) <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・「やくそく」や「かつどうべんりてちょう」など、学習活動に即した習慣や技能を身に付けられる資料が設けられている工夫が見られる。 <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・2年間で徐々に表現活動の質が高まるよう、学習内容や発達の段階に合わせた方法・内容を例示するなどの工夫が見られる。・QRコードが掲載されており、授業中に活用したり、個人で閲覧したりすることで、児童一人一人の興味・関心を刺激し、学習意欲が高まるよう工夫が見られる。 <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・様々な資料を豊富に掲載し、児童一人一人の興味・関心に合わせて活用できるよう工夫が見られる。・児童の思いや願いに合わせて多様な表現方法が例示されている工夫が見られる。 <p>3 内容の構成・配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none">・色づく場所が広がっていく鳥瞰図になっており、3年生以降の社会科との接続に配慮されているという特色がある。・スタートカリキュラムで行われる活動を生活科の内容で構成し、具体的に例示することで、関わる人と場所を徐々に広げていく構成となっており、幼児期との円滑な接続が実現できるという特色がある。 <p>4 表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none">・すべての「小单元名」、「本文」、「やくそく等」などの位置が固定化され、全て横の流れで示されており、紙面上のユニバーサルデザインで掲載されている工夫が見られる。 <p>5 体裁・使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none">・上巻はひらがな・カタカナのみ、下巻は第2学年までの配当漢字にすべてふりがなが振られており、すべての児童が読めるような工夫が見られる。・A4判			

音楽調査部会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 音楽

発行者 番号	教育出版 17	教科書名	小学音楽 音楽のおくりもの
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <ul style="list-style-type: none">・系統性のある題材の配列により、発達段階に応じて楽しみながら資質・能力を高めていくことができるよう、工夫されている。・学習のねらいを達成するためにふさわしいオリジナル曲が多く掲載されている。・低・中学年だけではなく、高学年においても、身体を動かして音楽を感じ取り、音楽との一体感を味わうことができる曲が掲載されている。・歌詞に忠実な写真・人物の挿絵を掲載することで、児童が感性を働かせ、音楽表現を生み出すことができるよう工夫されている。 <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・鍵盤ハーモニカやリコーダー等の楽器との出会いが大切に扱われており、児童が教科書を見ながら分かりやすく音の出し方や奏法を学ぶことができる。・巻末に『音楽のもと』まとめが掲載されており、各学年の共通事項を折に触れて確認することができるよう工夫されている。 <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・「まなびナビ」により、題材の学習の見通しが分かりやすく示されている。児童が「何を学ぶか」「どのように学ぶか」を理解し、主体的な学びを進めることができる。・音楽づくり「おとのスケッチ」では、記譜に抵抗なく活動できるよう配慮されている。友達と協働して教科書に書き込み、スモールステップで無理なく音楽をつくり出せるよう工夫されている。 <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・二次元コード「まなびリンク」により、紙面を補助するワークシート、作者からのメッセージ、楽器の演奏方法等の多岐にわたった情報を得ることができる。子ども自身が活用し、学びを深めることができる。 <p>3 内容の構成・配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none">・巻頭には著名な狂言師、バレリーナ、ピアニスト等からのメッセージが掲載されている。芸能と音楽との関連、表現者としての世界観についての考えが紹介されている。			

- ・世界各地の音楽の紹介は全学年で、またSDGsについては高学年で取り扱い、国際的な視野に立ち、諸外国の様々な音楽や音楽活動に積極的に関わっていこうとする態度を育む構成になっている。
- ・「にっぽんのうた みんなのうた」をマークで表示するなど、日本の伝統音楽に親しむ態度を育てる教材を多く取り入れている。
- ・整理された上で、適切な量の情報が示されており、文字・楽譜・写真・図・イラストのバランスがよい。児童にとって視覚的に理解しやすく分かりやすい構成になっている。
- ・他教科との関連を図る活動を積極的に取り入れている。特に外国語では' Short time learning'で英語の歌が全学年に掲載されている。
- ・「音楽ランド」では、全校合唱2曲をはじめとして、子どもたちに親しみやすい曲が多く掲載されている。

4 表記・表現

- ・3年生以上の巻末に、上質な紙に印刷された折り込みのリコーダー運指表が掲載されている。何度も繰り返し参照することができるとともに、リコーダー曲の楽譜を開いたとき、その脇に運指表が見えるように工夫されている。
- ・歌唱教材では、折り込みで紙面いっぱい美しい写真が掲載されており、曲の情景を想像しやすい。
- ・低学年用の音符の中に階名が書かれている楽譜では、「ソ」の音の高さに横線を引くなどし、五線譜を意識した表記になっている。
- ・目次と学習マップの内容が合致しており、学習マップの活用がしやすい。

5 体裁・使用上の便宜

- ・カラーユニバーサルデザイン、ユニバーサルデザインフォント、抗菌加工の表紙等、個に配慮した体裁になっている。

図画工作調査部会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 図画工作

発行者 番号	開隆堂出版 9	教科書名	<ul style="list-style-type: none"> ・ずがこうさく わくわくするね (1・2年上) ・ずがこうさく みつけたよ (1・2年下) ・図画工作 できたらいいな (3・4年上) ・図画工作 力を合わせて (3・4年下) ・図画工作 心をひらいて (5・6年上) ・図画工作 つながる思い (5・6年下)
-----------	------------	------	---

1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について

(1) 知識及び技能

- ① QRコードを読み取ると、作品カードや鑑賞シート、振り返りシート等のワークシートが入っていて児童が振り返りや自己評価をしやすい。
- ② 「学びの資料」の部分では、取り扱ってほしい用具や材料についての説明がされている。児童が繰り返しみることができると、技能の定着を図ることができる。

(2) 思考力・判断力・表現力

- ① 1年生の粘土の学習については、「たたいて、ころがして、ちぎって、にぎって、あつめて等」の技能がもう少し詳しく紹介されていると発想が広がっていくのではないかと。
- ② 版画については、表現のヒントにつながる材料が細かく掲載されている。
- ③ 作品の見所が書かれているため指導の参考となり、児童の表現力の向上につながる。
- ④ 全ての参考作品に作者の思いが書かれてあり、児童の思考の手助けとなる。
- ⑤ 造形遊びについては現実的で取りかかりやすく、児童が目的意識をもって取り組みやすい。

(3) 学びに向かう力、人間性等

- ① 「タブレットたんまつでみてみよう」ではその題材に関わるものをみることができ、探究的な学びにもつながる。
- ② 教科書に掲載されている児童の様子が楽しそうで、児童の学びへの意欲を高めることができる。
- ③ 探究的な学びへのヒントが書かれていて、発展的な学習につながる。
- ④ 見開きにある、廃材アーティストのことば等がキャリア教育につながる。
- ⑤ 「美術館に行ったのしもう」のページが興味をかき立てる内容になっている。
- ⑥ 「つながる 造形」では、美術や人や暮らし等、身近なところにつながり伝統文化を考えることにもなる。
- ⑦ 6年生最後に実施する「未来へつながる図画工作」はキャリア教育であり、中学校に向けての総括的な教材となっている。また、「図工美術の学習が資質となり未来へ、仕事へつながっていく」ということが、明確に打ち出されている。

2 内容の程度および取り扱いについて

(1) 基礎・基本の定着のための工夫

- ① 「学びの資料」については、材料の使い方、作品の作り方が丁寧に示してあり、児童が自分で開いて何度もみることで定着につながる。
- ② グルーガンの使い方は、1・2年下の教科書に掲載されているので、早い段階から習得できる。

(2) 主体的な学習活動を促すための工夫

- ① 巻末の資料の中に「タブレット端末の活用」が1ページにわたって取り上げられていて、タブレットに親しみやすく設定されている。
- ② QRコード部分に説明がついていて、何が表示されるのか明確であり活用しやすい。

(3) 個に応じた指導のための工夫

- ① 支援につながるような、児童の感想が記されている。
- ② 教科書のそれぞれのページにナビゲートする部分があり、個に応じた支援となっている。
- ③ タブレットにつながる説明が丁寧なため、個人で検索が容易にできるようになっている。

3 内容の構成・配列・分量

- ① リズム感を感じるデザインのページの構成であり、教科書を開いたときに楽しい感じとなる。
- ② 評価については、重点が示されている。
- ③ 単独の鑑賞のページが充実している。
- ④ SDGsを意識したコラムが随所に取り入れられている。
- ⑤ デジタル教科書については、指導書に同梱されており、追加料金なしで使用できる。

4 表記・体裁

- ① 表紙や参考作品については、色鮮やかで楽しい感じがする。
- ② 立体と工作の違いを指導者として明確にして指導に臨みたいが区別がしにくい。
- ③ 作品の背景が工夫されており、楽しい雰囲気を醸し出している。
- ④ 目標の表記は、児童にも分かりやすい。

家庭調査部会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 家庭

発行者 番号	開隆堂 9	教科書名	わたしたちの家庭科
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <ul style="list-style-type: none">○ 家庭生活を大切にすることを育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養うために、どのように配慮されているか。<ul style="list-style-type: none">・各題材の「生かす・深める」ステップに、「学習をふり返ろう」「生活に生かそう」が示されており、学習したことを自分の生活に生かそうとする意欲を高める工夫がなされている。・「生活の課題と実践例」が掲載されており、生活の中から課題を見付け、解決に向けて取り組むことができるよう工夫されている。			
<p>2 内容の程度および取扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none">○ 生活の営みに係る見方・考え方を働かせるための工夫や主体的・対話的で深い学びの実現のための工夫が見られるか。<ul style="list-style-type: none">(1) 基礎・基本の定着のための工夫<ul style="list-style-type: none">・各題材に、「生活に関わる見方、考え方」が明確に示されている。・「気づく・見つける」「わかる・できる」「生かす・深める」の3ステップで学習過程が示されている。さらに、ステップごとに振り返り（個人内評価）ができるようになっている。・実習・製作の過程が横流れに見開き1ページで示されており、作業の流れが見やすい。また、同時にその場で使用する道具も写真で示されており、分かりやすい。・袋の製作の題材では、トートバッグときんちゃくの作り方が同じページの見開きに上下で記載されており、製作の過程を見比べることができる。・実習や制作に「できたかな」を設けてあり、こまめに技能の定着を振り返ることができる。(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫<ul style="list-style-type: none">・児童の疑問に沿った学習問題が投げかけられており、一人一人が自分のめあてを設定したり、学ぶことの必要性を実感したりできるようになっている。・話合いの進め方や実践発表会の事例、巻末の「家庭科でよく使われる用語」等が掲載されており、言語活動の充実を図っている。・QRコードのワークシートに付箋機能があり、付箋を動かしながら、児童が作業の手順を考えることができるようになっている。・ページ下段に「豆知識」が掲載されており、児童の興味関心を引き出すような工夫をしている。・「生活の中のプログラミング」のコーナーがあり、児童の興味・関心を引き出すような工夫をしている。・キャリア教育につながる「キャリアインタビュー」のコーナーが充実している。(3) 個に応じた指導のための工夫<ul style="list-style-type: none">・製作例には、扱いやすい平易なものを取り上げている。・「生かす・深める」で応用例が取り上げられているので、さらに深めたい児童に対応できるようになっている。・QRコードが各ページについており、写真、動画、ワークシートなどを読み込むことができるため、児童が個別に技能を学ぶことができる。・「生かす・深める」の振り返りシートでは、自身の思考や変容が見られるような記入の仕方ができるようになっている。・左利き児童への道具の使い方が示されている。			

3 内容の配列・分量

- 題材の構成や教材の配列にはどのような特徴があるか。
 - ・ 2年間の学習を見通して、平易なものから難しいものへと系統的に学習できるようになっている。
 - ・ 巻頭のガイダンスでは、2年間の学習内容がイラストにより一目でわかるようになっている。
 - ・ 中学校の学習内容を写真やイラストで掲載し、系統性を図っている。
 - ・ 題材の内容が細かく区切られているので（5年「整理整頓」6年「クリーン作戦（掃除）」等）地域や学校の実態に応じて組み替えがしやすくなっている。

4 表記・体裁

- 誰もが見やすく、使いやすくするため、どのような配慮がされているか。
 - ・ 大事な家庭科用語を黒太字にして強調している。
 - ・ ユニバーサルフォントを使用し、誰もが読みやすいよう配慮している。
 - ・ 分野別にタグが入っており、どのような学習をするのか分かりやすい。
 - ・ オリジナルキャラクターにより、生活に関わる見方・考え方が分かりやすく示されている。
 - ・ 巻末の五大栄養素が見開きになり、別な資料と同時に見比べることができ便利である。
 - ・ 表紙にもものさしが付いていて、具体的な大きさがわかるようになっている。
 - ・ 挿絵のキャラクターに、様々な年代や国籍の人、車いすの人などが登場し、多様な人々と共生していることに気付くことができるよう配慮されている。
 - ・ ページ下段や挿絵などに英語表記が掲載されており、英語学習との関連を図っている。
 - ・ 製作のページに、まち針の打ち方の順番が示されており見やすい。
 - ・ 実物大の資料が巻末に掲載されており、児童が理解しやすくなっている。
 - ・ 環境に配慮された紙質であり、手触りに特徴がある。

保健調査部会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 保健

発行者 番号	大日本図書 4	教科書名	新版 たのしい保健
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <p>各章ごとに導入ページを設け、簡単な運動やキャラクター探し、チャートを掲載することで児童が学習課題に自然と触れる工夫がなされている。また、1単位時間の流れを「つかもう」で自分の生活を振り返りながら主体的に課題を見付けて、「考えよう」・「話し合おう」・「調べよう」の活動を通してまとめ、最後に「活かそう」で自分の生活について思考を深めることで、生涯にわたって心身の健康を保持増進するための資質・能力を育成できるように配慮がされている。</p> <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・章の終わりに、知識及び技能を定着させるためのページを設け、学習した内容を確認し、知識の定着を図っている。 <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・「つかもう」「考えよう」「話し合おう」「調べよう」などの活動において、児童が協働して課題を解決したり、話合いの焦点化が図られたりすることで、深い学びを実現しやすくなっている。 <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none">・デジタルコンテンツを充実させ、学習内容に関連する「もっと知りたい！」の資料を掲載し、学習内容をさらに広げて知識を深められるようになっている。・学習内容に関連するページが明記されており、効率的に学習が進められるようになっている。 <p>3 内容の構成・配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none">○学習指導要領の配列に合わせ、毎時間の流れが主に見開き1ページ4段階の学習過程で構成されている。○単元始めに学習内容を明示することで、見通しをもった学習を促す特色が見られる。 <p>4 表記・表現</p> <ul style="list-style-type: none">○折り込みカードで学習内容を隠し、導入部分の興味・関心を高める工夫がなされている。○単元ごとのとびらのページに学習ゲームを取り入れ、児童の好奇心を高め、学習に意欲をもって取り組める工夫がされている。 <p>5 体裁・使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none">○A4版で全ページ、ソフトなカラー印刷で、写真は鮮明な仕上げがされている。○表紙は堅牢性があり、環境に配慮した紙を使用している。○ページ総数3・4年45P 5・6年69P			

外国語（英語）調査部会

選 定 理 由 書

第 10 採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 外国語（英語）

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	NEW HORIZON Elementary English Course
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <p>【知技】・別冊に語彙や例文がまとまっている。QRコードで家庭でも音を確認できる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書く活動が多く設定されている。 <p>【思考】・「知る」場面で、考える場面が設定されている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えをしっかりと整理した上で、英語で考える。また、書いて表現する部分がある。 ・映像時間と調べ学習を短縮してあり、児童の豊かな活動時間を確保できる。 ・語彙や表現に慣れ親しみ、スモールステップで繰り返し学習を積み重ねることで、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる力を養うように配慮がされている。 <p>【学び】・2年間を通して、自分→地域→日本→世界と身近なところから広がり、世界を意識した作りとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・listen → speak → read → write と段階を踏んで学びを進められる。 ・書く活動が多い。（やや多すぎると感じる） <p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <p>(1) 基礎・基本の定着のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「Plus!」マーク活用で、「指導しなければならないもの」と「時間があれば指導するもの」と、重要度を区別することができる。 ・単元最初の単元のゴールが明確に記載されている。 ・英語を用いての会話をする必要がわかりやすい。 ・CAN-DO リスト（別冊 My Picture Dictionary の中の「CAN-DO の樹」）が、単元ごとにはっきりしている。 ・英語専門の先生には扱いやすいと思われる。 ・デジタルマップ等デジタルコンテンツ、音声が充実している。 ・5年生に単語の書き方のルールが記載された。 ・せりふの丸暗記ではなく、流れの中でのコミュニケーションを図る工夫がされている。 <p>(2) 関心・意欲を高め、主体的な学習活動を促すための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科との関連が単元の最初に表記されている。 ・モデルを参考にして、自分のことにつなげることで主体的な学習を図ろうとする仕掛けがある。 ・コミュニケーションの会話文が書かれているので、インタビュー活動に役立つ。 ・デジタル学習で調べ学習ができる。 ・発表に関する例の記載がある ・6年生の巻末に、中学校の学習内容に触れる場を設け、円滑に接続できるような工夫がある。 <p>(3) 個に応じた指導のための工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「マイ単語」→児童が使いたい（よく使う）単語を自分で調べて書き留めておける。 ・My Picture Dictionary は紙面とデジタルコンテンツ両方に入力可能。オリジナル絵辞書が作成できる。 ・英語の書き方の説明の記載 ・学期のまとめの Check Your Step では、思考の可視化が明記され、シンキングツールが記載されているため、児童にとってイメージしやすい工夫がされている。 ・QRコード 2 ページに1つ。 ・デジタル映像で、個別にモデル会話の後に、画面上の ALT と練習できる間を設けた工夫がある。 			

3 内容の構成・配列・分量

- ・学期の振り返り及び定着の確認として、4技能を使うページがある。
- ・日本文化を外国人の目線で紹介している。
- ・ページ数が他社より少なめである。
- ・物語文を用いて、まとまった量の内容を理解する能力を育成することができる。
- ・書く量が増加している。児童の負担にならないか懸念（特に Over the Horizon）
- ・異文化に対する知識や理解の記述が前回の教科書より減少している。
- ・Watch → listen → try → write と段階的に学びを深めることができる。また、身近なことから徐々に視野を広げながら、言語活動を行うことができる。
- ・6年生で過去形を早めに学ぶことで、人権等も含んだ配慮をしている。

4 表記・表現

- ・単語や文をすべて一行で表示しされており、見やすい。
- ・日本語と英語の表記が同じであり、区別がしにくい。
- ・ページの下には、ページ数を英語で表記してある。
- ・文字がやや小さく、細い。ローマ字にも4線があるとよい。
- ・四線 中が広がっている。

5 体裁・使用上の便宜

- ・視認性や書きやすさに配慮されたオリジナルのUD書体
- ・イラストや写真が効果的に使用されている。
- ・デジタル教科書（「ダブドリ Live!」「教材データベース」（教科書と連動）が充実している。授業の流れがワンタッチで表示され、わかりやすい。
- ・教科書の大きさはA4であり、別冊も同じ大きさである。※サイズ→R2：AB判、R6：A4判
- ・別冊 My Picture Dictionary には、会話で使う表現や語彙が多く充実している、（紙面掲載単語700語＋言語活動で使用頻度が高い300をデジタルで追加。）2年間で1冊。

道徳調査部会

選 定 理 由 書

第10採択地区教科用図書選定協議会

小学校 教科 道徳

発行者 番号	東京書籍 2	教科書名	新しい道徳
<p>1 学習指導要領の教科の目標を達成するために取り扱う内容の選択について</p> <ul style="list-style-type: none">登場人物の気持ちを深く考えられる教材、「いじめ」「情報モラル」「SDGs」等の現代的な課題に目を向けた教材などを通して、道徳的諸価値を理解できるように配慮されている。さまざまな角度・視点から考えられる教材、時代を拓く人の生き方に触れる教材を通して、自己の生き方について考えを深められるように配慮されている。問題解決的な学習と道徳的行為に関する体験的な学習を取り入れた教材、自分の成長を確認できる学習を通して、道徳性の諸様相を育てられるように配慮されている。			
<p>2 内容の程度および取り扱いについて</p> <ul style="list-style-type: none">日常生活や他教科と関連させた教材、現代的な課題に取り組む5つのユニット「いじめ、いのち、じぶん、情報モラル、安心・安全」では、問題意識をもたせ、確かな道徳性を養う工夫が見られる。自分の考えを可視化するためのツールや対話の中で活用できる文言例、役割演技や動作化のページを掲載することで、実際に議論したり、友達との考えを比べ、多様な感じ方、考え方に気付かせたりする工夫が見られる。読み物教材、ビジュアルから考える教材、漫画を活用した教材等で興味をひき、振り返りを充実させることで主体的に考えるための工夫が見られる。キャラクターによる問いの投げかけから問題意識を喚起したり、中心発問（1問）が明確にされていたり、道徳科の授業で考えたことを他教科等や日常生活に結びつける「つながる・広がる」のページを活用したりすることで、価値に迫り、より深く考えられる工夫が見られる。			
<p>3 内容の構成・配列・分量</p> <ul style="list-style-type: none">掲載教材数は35（1学年は34）、重点の「生命の尊さ」は、各学年で3教材ずつ掲載されている。「いじめ」「いのち」「じぶん」の各ユニットは、「とびらページ+教材+つながる・広がる（コラム）」で構成され、全学年同時期に配当し、丁寧に繰り返し学習できる特色が見られる。			
<p>4 表記・体裁</p> <ul style="list-style-type: none">AB判、UDフォントの教科書体、カラーUD、QRコンテンツが採用されている。授業に役立つ多彩なデジタルコンテンツがあり、個別最適な学びを実現する工夫がされている。価値に迫る場面の挿絵、ダイナミックなビジュアル写真、全ての児童の色覚特性とダイバーシティの育成に配慮された挿絵・写真に特徴がある。			